女性会通信「西宮しあわせ物語」

令和８年度に向けて

日頃は女性会活動にご協力いただきありがとうございます。

昨年度は西宮市市制施行100周年の記念事業で以下事業を実施いたしました。

・地域のシンボルとして先の世代にも受け継がれることを期待し、今津灯台敷地内に西宮市オリジナル品種の『今津紅寒桜の植樹』。
・従来実施していた婚活事業を発展させ、婚活の形にとらわれず、趣味やビジネス等の面での人脈形成の場を提供することを目的として『オトナノ友活 vol.1』。
・阪神淡路大震災から30年の節目の年とも重なり、災害に対する備えとして食料備蓄に対する市民への意識付けを目的とし、西宮市共催のもと『防災食レシピ甲子園 in 西宮』。

今年度は兵庫県の事業で若手後継者等育成事業の「阪神7市1町商工会議所・商工会女性会（部）交流会」を西宮で開催することになりました。すでに実行委員も決まり動き出しています。他の市・町の方々をお迎えする中で限られた人数ですが総力を挙げて成功させたいと思います。

うれしいニュースは記念植樹の「今津紅寒桜」が一輪花をつけてくれたそうです。とても感動いたしました！！お花見に行きましょう。

最後に女性会事業へのご協力のお願いと皆様の事業の益々の発展をお祈りいたします。

会長　上田　みち代

森本会頭と女性会・青年部との意見交換会開催

２月12日、日本盛㈱煉瓦館において、森本西宮商工会議所会頭と女性会・青年部幹部による初の意見交換会が開催されました。当日は、森本会頭をはじめ11名が出席し、市制100周年を機としたさらなる連携強化や、「市の産業行政に求めるもの」をテーマに活発な意見が交わされました。

森本会頭は、産業振興をまちづくりの根幹と位置づけ、市の産業政策における予算配分の低さや企業流出の現状を指摘。そのうえで、行政との認識のずれを解消するためにも、女性会・青年部それぞれの立場から意見を吸い上げる仕組みづくりが必要であると述べられました。

参加者からは、地域企業の人材確保や産学連携の促進、ふるさと納税の活用、効果的な補助金の充実など、多角的な提案や要望が寄せられました。

また、女性会と青年部とのさらなる交流・協働の方向性も確認され、今後の連携深化に大いに期待が寄せられています。

副会長　八上　祐子

会員募集中　**Tel：0798－33－1257**
西宮商工会議所 女性会担当
ホームページは、こちら
https://n-cci.or.jp/joseikai/

前月と比べたDI値の動き

↗ 改善　→ ほぼ横ばい　↘ 悪化

早期景気観測 業種別の動向

2026年２月調査結果

LOBO 日本商工会議所 The Japan Chamber of Commerce and Industry

建設業	↗	公共工事や設備投資が底堅く推移する中、日本海側を中心とした大雪の影響による除雪作業の増加などから、改善。引き続き人手不足による供給制約を指摘する声が散見されている。
製造業	↗	堅調な設備投資・半導体需要を背景に機械器具関係で引き合いが見られ、改善。一部で原材料価格の上昇に一服感が見られるが、価格転嫁は道半ばであるという声が聞かれた。
卸売業	→	大雪などの悪天候による外出控えの影響を受けた飲食料品関係で引き合いが減少した一方、堅調な設備投資需要を受けた建築資材関係や機械器具関係で売上が増加し、ほぼ横ばい。
小売業	→	バレンタイン商戦が活況となり百貨店を中心に客数が増加した一方、一部地域の悪天候に伴う外出控えにより、商店街等で客数が減少し、ほぼ横ばい。
サービス業	→	インバウンドを中心に観光需要は堅調に推移しているものの、大雪の影響で運送業で物流遅延が発生したほか、外出控えにより飲食店等で客数減少が見られ、ほぼ横ばい。